



岡山大学記者クラブ加盟各社 御中

令和 5 年 12 月 25 日
岡 山 大 学

**文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」に採択
～地域と地球の未来を共創し、世界の革新の中核となる研究大学：岡山大学の
実現を加速とともに世界に誇れる我が国の研究大学の山脈を築く～**

本学は 12 月 22 日、文部科学省の令和 5 年度「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」（実施主体：日本学術振興会（JSPS））に採択されました。

本事業は、JSPS が実施主体となり、我が国全体の研究力の発展をけん引する研究大学群の形成のため、地域中核・特色ある研究大学に対し、強みや特色ある研究力を核とした戦略的経営の下、研究活動の国際展開や社会実装の加速・レベルアップの実現に必要な環境構築の取り組みを支援する事業です。今回、69 大学（国立 39 大学、公立 7 大学、私立 23 大学）から申請があり、書類選考とヒアリング選考等を経て、12 大学（国立 9 大学、公立 1 大学、私立 2 大学）が採択されました。事業期間は 5 年間です。

本学は、岡山大学長期ビジョン 2050「地域と地球の未来を共創し、世界の革新に寄与する研究大学」の確実な実現に向けた手段として、「**地域と地球の未来を共創し、世界の革新の中核となる研究大学～持続可能な社会を実現させる 10 年構想～**」というテーマで申請しました。

ビジョン実現のために、強みある 3 領域で本事業を実施します。「**光合成・植物科学領域**」の深化と「**材料・エネルギー領域**」の融合から世界初の光合成の機構解明や人工光合成・新素材開発等の課題解決のブレークスルーとなる新知見を生み、イニシアチブを確立します。「**医学・臨床医学領域**」は、国家プロジェクトの参画と自治体・企業等との連携でデジタル技術の活用と規制緩和を進め、医療制度や生活様式を変革するイノベーションを起こします。さらに、アカデミア発の知見と共創の場を求めて企業等から多様な人材が集まり、ともに世界的地球環境課題（食料・エネルギー危機・地域医療等）に向き合う、卓越した研究力とイノベーション力を兼ね備えた地域の中核大学として、「**知識によって社会を変革するナレッジワーカー（知識労働者）**」を育成・輩出し、研究・イノベーションの叡智で地球と生態系の健康（*Planetary Health*）、Well-being・人の健康（*Human Health*）及び安心・安全に暮らせる地域の健康（*Community Health*）の実現と、そのための社会変革を実現します。

今後、J-PEAKS 採択大学等とも連携し、「世界に誇れる研究大学の山脈（PEAKS）」を築きあげていきたいと思っております。どうぞ、本学のみならず J-PEAKS 採択大学の挑戦にご期待ください。



PRESS RELEASE

■発表内容

本学は12月22日、文部科学省令和5年度「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」(実施主体：日本学術振興会)に採択されました。

本事業は、我が国全体の研究力を向上させ、新たな価値創造を促進していくために、大学ファンダによる国際卓越研究大学への支援と並行して行うものです。我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成を推進することを目的に、地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、その強みや特色のある研究力を核とした経営戦略の下、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力強化を図ります。今回69大学からの申請があり、12大学(国立9大学、公立1大学、私立2大学)が採択されました。

本学は、岡山大学長期ビジョン2050「地域と地球の未来を共創し、世界の革新に寄与する研究大学」の実現に向け、本学の事業構想である「研究力強化・イノベーション創出戦略」を強力に推進します。

岡山大学ビジョン3.0・岡山大学長期ビジョン2050

岡山大学の理念「高度な知の創成と的確な知の継承」
岡山大学の目的「人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築」

長期ビジョン2050(～2050)：地域と地球の未来を共創し、世界の革新に寄与する研究大学
岡山大学ビジョン3.0(2022～2027)：ありたい未来を共に育み、共に創る研究大学

SDGs大学経営：SDGsへの貢献を大学経営の中核に置き、教育研究・産学共創を一体的に改革して新たな事業モデルを展開

グローバル・エンゲージメント戦略
国際機関等多様なステークホルダーと協働し、グローバル・エンゲージメントの強化

岡山大学DX推進プラン：デジタルトランスフォーメーション(DX) for SDGs

教育	研究・産学共創	大学経営
「主体的に変わり続ける先駆者」の育成	研究成果の社会実装を促進し社会課題解決	変化に強い強靱な組織へ
<ul style="list-style-type: none"> 大学院教育改革 学士課程と高大接続の一体改革(Target2025) リカレント教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 若手研究者が自由な発想で挑戦的研究に取り組める環境の整備 学内におけるイノベーション創出機能の集約化と強化 	<ul style="list-style-type: none"> ERMによるガバナンス体制の強化 ダイバーシティ&インクルージョンの推進 インナーブランディングの強化 大学病院経営の健全化、財源の多様化、自律的な法人経営

本事業における主な取り組みは、下記の通りです。

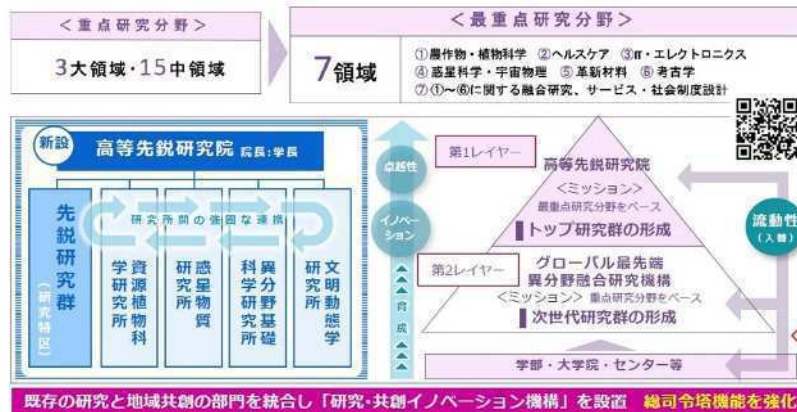
①研究IR(エビデンス)に基づき、強み分野と次世代にリソースを投資し、研究界のトップサークルと勝負できるよう、強みをさらに“強く”、“尖らせ”ます。そのために従来から実施している国際的学術研究拠点「RECTORプログラム」をさらに進化しつつ、本年に新たに制定・改定した「岡山大学最重点研究分野」と「岡山大学研究ポリシー」及び新研究マネジメントシステム「岡山大学高等先鋭研究院」(4研究所+先鋭研究群(研究特区))による、拠点間の有機連携・シナジー効果、順位付け制度による入れ替え(流動)による切磋琢磨、派生研究の切り出し育成等の取り組みをより加速します。そのトップランナーとして世界トップレベルの研究者集団である「植物・天然光合成」分野と東京大学などとの連携により、世界の類を見ない学術成果から「革新的材料・クリーンエネルギー」分野及び産業界と連携を図り、地球と生態系の健康(Planetary Health)を達成します。



岡山大学高等先鋭研究院のシステム

拠点組織の「箱」ではなく、卓越、イノベーション創出、流動、育成を兼ね揃えた「システム」として運用開始

高等先鋭研究院を「第1レイヤー」、本学の育成専門機構であるグローバル最先端異分野融合研究機構(G研究機構)を「第2レイヤー」とし、それぞれにミッションを明確に。さらに高度研究系マネジメント人材であるURAの優先的配置や自己資金をも注力することで、システム運用を強化へ。



我が国初の試み

岡山大学高等先鋭研究院
OKAYAMA UNIVERSITY

緊張感を持ってシステムを運用

研究IRにより岡山大学の4研究所を高等先鋭研究院の初代枠組みに入れているが、基準を満たさなければ研究所を解散・再編させる覚悟を持って運用する

自己資金 約5.6億円/年を投入

既存の研究と地域共創の部門を統合し「研究・共創イノベーション機構」を設置 総司令塔機能を強化

研究大学の舵取りを担う高度研究系専門人材である岡山大学URA https://www.okayama-u.ac.jp/up_load_files/press_r5/press20230831-1-1.pdf

岡山大学高等先鋭研究院のシステム

岡山大学高等先鋭研究院の院長は那須保友学長が、副院長はG研究機構長*を務める佐藤法仁副理事・副学長・URAと4研究所の平山隆志所長、芳野極所長、沈建仁所長、松本直子所長の5名が務める。



那須保友院長 (学長・法人の長) 佐藤法仁副院長 (G研究機構長) 平山隆志副院長 (資源植物科学研究所長) 芳野極副院長 (惑星物質研究所長) 沈建仁副院長 (異分野基礎科学研究所長) 松本直子副院長 (文明動態学研究所長)

* 岡山大学グローバル最先端異分野融合研究機構(G研究機構)

文部科学省「研究大学強化促進事業」において創設した研究群を育成するための専門機構。10年間の研究大学強化促進事業(昨年度終了)における育成ノウハウを次に活かすため、高等先鋭研究院との密な連携によって岡山大学における研究・イノベーション力の「厚み」を担っていきます。なお、G研究機構長は高等先鋭研究院の副院長を兼任し、マネジメントの俯瞰も担保しています。



②社会課題解決からイノベーション創出を図り Well-being 社会を実現するため、国家戦略や地域の思いを先取り先導し、岡山大学でしか成し得ない研究を展開のうえ、「外なる場」でのコミュニティ形成と総合知により社会変革を起こします。本学は国家戦略特区「デジタル田園健康特区(岡山県吉備中央町)」に深く関わり、様々な取り組みを展開しています。国家戦略特区(スーパーシティ



PRESS RELEASE

型国家戦略特区、デジタル田園健康特区)に関係している大学と連携して**共生型連合体**(筑波大学、山梨大学、大阪大学)を構築し、今後、これを基盤に関連特区の規制事業を横展開し、実証数の増、実証のスピード化、地域特性比較などの検証からイノベーションを創出し、医療制度の規制緩和や革新的新医療技術開発、地域の暮らし変革などを加速し、*Human Health* (人の健康)、*Community Health* (地域の健康)の地域振興のハブとなります。

③これらの取り組みを支える研究基盤(設備とヒト)改革として、先端設備の整備とアカデミアだけでなく産業界も含めた設備共用システムの強化(ハード面)、技術人材の高度化(テクニカルコンダクター、技術プロジェクトマネージャーの育成:ソフト面)双方の強化により、イノベーション創出の知と技のメッカ(集積拠点化)を構築します。東京大学クライオ電顕ネットワークの中・四国地域での拠点化、理研 SPring-8 とのリモートステーション化による大型実験の事前分析拠点の構築、東京工業大学、山口大学、自然科学研究機構、津山工業高等専門学校との連携から、設備利用の好循環の構築とオールジャパンでの高度技術マネジメント人材の育成を加速させます。

④研究力強化とイノベーション創出に向けた人事・財務戦略として、若手・中堅・シニアが、やりがい、感動、高揚感を感じ、誇りと希望を持ち研究に打ち込める環境の整備と、高度専門マネジメント人材改革として、先例にとらわれない、人事給与制度改革を断行し、知識によって社会変革を起こす人材「ナレッジワーカー」の育成・輩出を進めます。

岡山大学最重点研究分野と研究ポリシー

・岡山大学最重点研究分野

2023年7月31日の役員会において、研究IRなどを基にして、7つの分野を制定した(7月19日教育研究評議会承認)。

- | | | | |
|--------------|-----------|----------------------------|---------------|
| ① 農作物・植物科学分野 | ② ヘルスケア分野 | ③ IT・エレクトロニクス分野 | ④ 惑星科学・宇宙物理分野 |
| ⑤ 革新材料分野 | ⑥ 考古学分野 | ⑦ ①～⑥に関係する融合研究、サービス・社会制度設計 | |

https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12288.html



・岡山大学研究ポリシーの改正

2023年10月30日の役員会において、「岡山大学研究ポリシー」を改正した(10月18日教育研究評議会承認)。

主な改正ポイントは、

- ①岡山大学長期ビジョン2050の実現に根ざしている点
- ②産業化や社会実装等のイノベーション創出に関わる点を含む点
- ③生成系AIや研究インテグリティなどを明記した点
- ④機器共用促進を含む設備整備等の研究環境の質向上と研究に従事する者のパートナーとしての技術職員の人材育成強化の点
- ⑤岡山大学最重点研究分野の研究推進を行う点
- ⑥岡山大学高等先鋭研究院のシステムを強力に推進する点
- ⑦研究に従事する者「個人」ではなく、集団としての「群」を対象に研究推進を行う点
- ⑧大学院博士課程(後期課程)に在籍する大学院生を「研究者」と位置づける点
- ⑨高い研究能力を有して研究活動に従事する者に対しては、研究活動時間や活動費等のインセンティブを与える点
- ⑩リサーチ・アドミニストレーター(URA)は、岡山大学執行部の研究プレーン組織を担うマネジメント人材とともに、法人経営を担う人材として大学内だけではなく社会とともに育成を図る点

https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12553.html

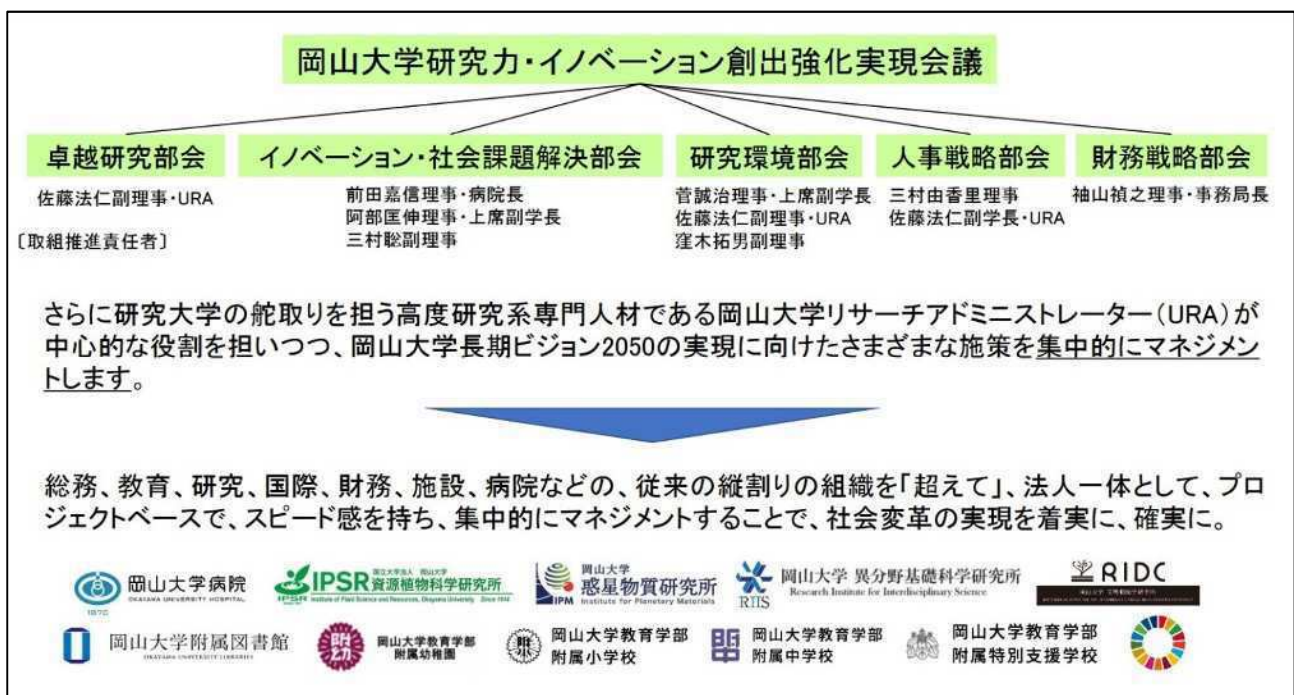


今回の J-PEAKS の採択を受けて、担当である本学の佐藤法仁副理事・副学長・URA は「本事業申請に取り掛かるにあたり、『目的』と『手段』をはき違えないために『事業のためではなく、本学のビジョン達成のために申請する』という点を全学で再確認し、取り掛かりました。そのため事業の採否に関わらず計画しているものは申請後の審査期間中もどんどん進めました。そのため申請書



PRESS RELEASE

に記載している初年度計画の大半は既に終えている状態となっています。大学・研究機関のみならず、社会・歴史が大きく変化し続ける中、大学のあり方も変わっています。本事業の採択は、本学のみならず採択大学における大きな転換点になると感じています。大学の歴史的意義を抱えつつ、新しい時代の大学『学問の府』のあり方も築きあげていく好機とも考えます。そして本事業は数多くの人たちの人生をも変える大変インパクトがある事業です。私たちはとても重い責任を担っていることを自覚しつつ、社会変革を起こす“力”があることの矜持を抱き、過去・現在・未来のステークホルダーとともに前へ前へと歩んでいきます。固定観念を廃し、失敗を恐れず、何度も何度も挑戦し続ける研究大学：岡山大学へのご支援をよろしくお願い申し上げます」とコメントしました。



本学では、既に本事業の司令塔とも言える「岡山大学研究力・イノベーション創出強化実現会議」を設置・始動し、長期ビジョン 2050 の実現に向け、部門の垣根を越え、多種多様な知を生かす「アジャイル型手法」を用いて、研究力・イノベーション創出強化から社会変革を起こすべく、諸施策を強力に推進しています。文部科学省「研究大学強化促進事業」（平成 25 年度～令和 4 年度、最終評価：S）、内閣府「国立大学イノベーション創出環境強化事業」（令和 2～3 年度）、文部科学省「国立大学経営改革促進事業」（令和 3 年度）、文部科学省「国立大学経営改革促進事業」（令和 4 年度～）及び JST「共創の場支援プログラム」等で進めてきた大学経営改革をさらに加速させ、新たな価値の創出と社会変革を強力に進めます。また、J-PEAKS 採択大学等とも連携し、「世界に誇れる研究大学の山脈（PEAKS）」を築きあげていきたいと思ひます。どうぞ、本学のみならず J-PEAKS 採択大学の挑戦にご期待ください。

なお本件の詳細については、1 月 25 日「岡山大学定例記者発表」の学長発表において紹介する予定です。



PRESS RELEASE

○那須保友学長のコメント

エビデンスに基づいた資源の重点投資を通じて世界トップレベルの研究領域やイノベーション創出拠点を形成し、社会変革を起こせる研究大学を目指すとともに、「不易流行の大学経営」を通じて、誰もがワクワク・ドキドキと過ごせる「誇りと希望の学都」を目指します。

今後、これまで以上に学内構成員や学外のステークホルダーへの周知等を行っていきます。研究プロジェクトの推進やイノベーション創出等を通じた社会改革と、研究環境の改善を含めた組織風土の改革が求められています。組織風土を学部生、大学院生、研究者、職員、そしてステークホルダーとともに変えていく起爆剤ともなると考えます。それを一言で「ワクワク・ドキドキ」としました。

今後も本事業を通じてワクワク・ドキドキを盛り上げ、岡山大学長期ビジョン 2050「地域と地球の未来を共創し、世界の革新に寄与する研究大学」の実現を確実にしていきます。引き続き、地域中核・特色ある研究大学：岡山大学へのご支援をよろしくお願い申し上げます。



那須保友学長

<参考1>

- ・日本学術振興会「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」

<https://www.jsps.go.jp/j-chukaku/index.html>





PRESS RELEASE

<参考 2>

- ・岡山大学高等先鋭研究院を創設～世界と伍す研究・イノベーションの卓越と厚みを育成するシステムを構築～



https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12398.html

- ・「岡山大学最重点研究分野」を制定～地域と地球の未来を共創し、世界の革新に寄与する研究大学を実現するために～



https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12288.html

- ・「岡山大学研究力・イノベーション創出強化実現会議」を設置・始動～矜持とスピード感を持って社会変革を実現する研究大学を目指し、司令塔機能を一本化～



https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12475.html

- ・岡大長期ビジョン 2050 をより確実に実現させ、社会変革を起こす”力”がある研究大学：岡山大学を目指して「岡山大学研究ポリシー」を改正



https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12553.html

- ・岡山大学の4研究所を「高等先鋭研究院」に認定 ～世界と伍す研究・イノベーションの卓越と厚みを育成するシステムを始動～



https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12565.html

<お問い合わせ>

岡山大学研究力・イノベーション創出強化本部 統括事務局
(電話番号) 086-251-7115



岡山大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



採択大学：岡山大学（強化を図る機能：①、②）

参画機関：筑波大学、東京大学、東京工業大学、山梨大学、大阪大学、山口大学、理化学研究所、自然科学研究機構、津山工業高等専門学校

取組内容の概要

地域と地球の未来を共創し、世界の革新の中核となる研究大学～持続可能な社会を実現させる10年構想～

不易流行の大学法人経営 ～社会変革の実現によるマルチステークホルダーのWell-being追及～

①卓越性の飛躍から世界的課題を解決する新技術創出

50年後、100年後のありたい未来：地球と生態系の健康（Planetary Health）の実現に向け、地球外活動も視野にいたれた、新たな知見と新技術開発を推進

高等先鋭研究院 先鋭研究群（研究特区）を選定：（第1弾）
植物・光エネルギー開発拠点

【10年後】「光合成の根幹をなすタンパク質の機構等」「植物の機構・構造・ゲノム情報」解明により、人工光合成の社会実装、クリーンエネルギー生産システムや極限環境下でも安定・高強度を保つ新素材開発を加速化

世界トップの研究者群（知の集積）とリソースの傾注により、研究界のトップサークルを先導し、地球規模の課題解決を図り、国際研究イニシアチブを獲得



イノベーションを支える強い基盤づくり：研究基盤の整備と高度専門人材の育成

③イノベーション創出の知と技のメッカとなる研究基盤整備（研究力強化・産業振興拠点）

- 先端分析計測設備・基盤設備の充実及び共用化の推進
 - クライオ電顕連携中四国NWを構築
 - 理研Spring-8のリモートアクセスステーション設置
 - 最先端設備の整備により大規模実験の事前実験拠点
 - 基盤設備の共用化促進（産業界の利用促進）
 - コアファンリティポータルによる研究設備のワンストップ利用
 - 事務処理DX化による業務削減
 - 総合技術部・技術職員の高度化
 - TCカレッジの受講によるテクニカルコンダクター(TO)認定者輩出促進（ALL-JAPANで技術人材の高度化・関係機関、企業等との頭脳循環）
 - 博士人材の積極登用（大学院修学支援制度による博士号取得促進）
 - プロジェクトマネジメント国際資格（PMP）取得促進
- ↑ **シナジー効果** ↓

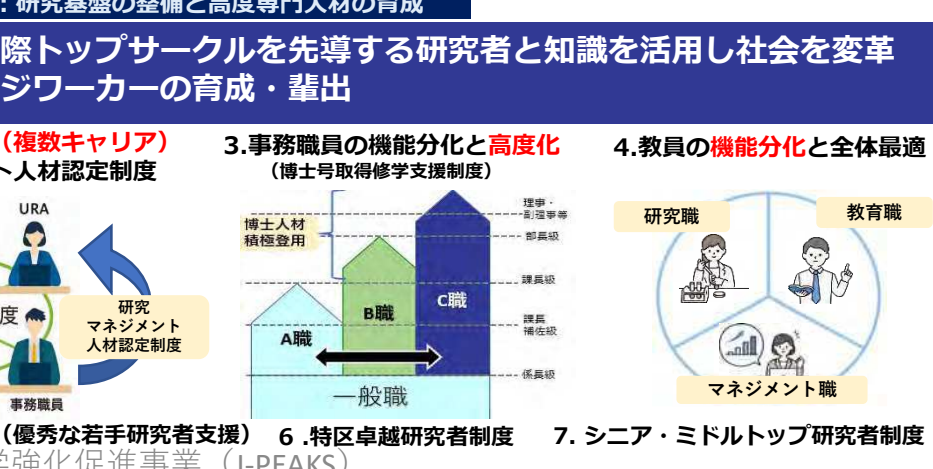
④ 研究界の国際トップサークルを先導する研究者と知識を活用し社会を変革するナレッジワーカーの育成・輩出

- 複線型人事制度（複数キャリア）
 - 研究マネジメント人材認定制度
 - 事務職員の機能分化と高度化（博士号取得修学支援制度）
 - 教員の機能分化と全体最適
 - スーパーPI制度（優秀な若手研究者支援）
 - 特区卓越研究者制度
 - シニア・ミドルトップ研究者制度
- 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）

②イノベーション創出によるWell-being社会の実現

【10年後】デジタルの力で人の持つ力を最大限活用し、医療制度と生活様式の変革を導く拠点
Community Health & Human Health 先導大学群の形成

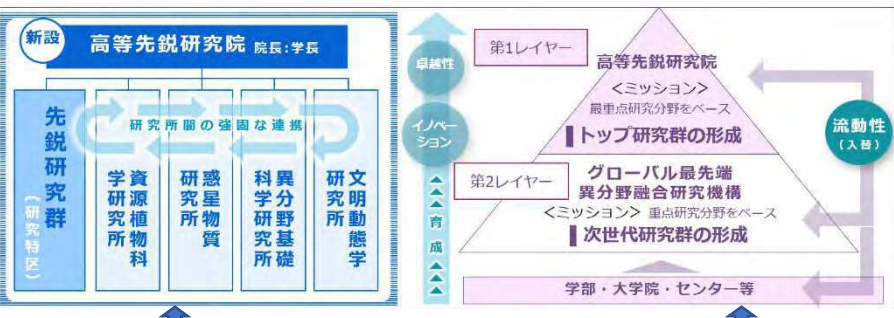
DXを軸に産学官連携により誰一人取り残されないコミュニティを創生（国家戦略特区：デジタル田園健康特区を活用し、中山間地域の課題解決の全国展開）



実施体制

岡山大学長期ビジョン2050実現に向け研究力・イノベーション創出強化本部設置（迅速な意思決定・強固な教職協働・アジャイル）

卓越性からイノベーション創出、実績に応じた評価と流動性を兼ね備えた強化・育成システムを構築（R5.7~9）



研究マネジメントの総司令塔機能を強化（既存の研究推進機構と地域共創部門を統合）
R6.4「研究・イノベーション共創機構」設置

高等先鋭研究院 先鋭研究群（研究特区）の第1弾として、本学の最重点研究分野（植物科学・革新材料）を軸に、「植物・光エネルギー開発拠点」を選定。東京大学や理化学研究所と連携し高度な構造解析力を実現
単なる拠点組織の“箱”ではない生きたシステムの中で、世界トップ研究者を招へい、次世代PIや若手研究者を集積し、リソースを傾注することで、世界をけん引する新たな知見とイノベーション創出を加速させ、その仕組みを全体に波及させる

外なる場に学内・学外のシンクタンクを融合させた拠点を形成
地域課題解決からイノベーション創出まで加速

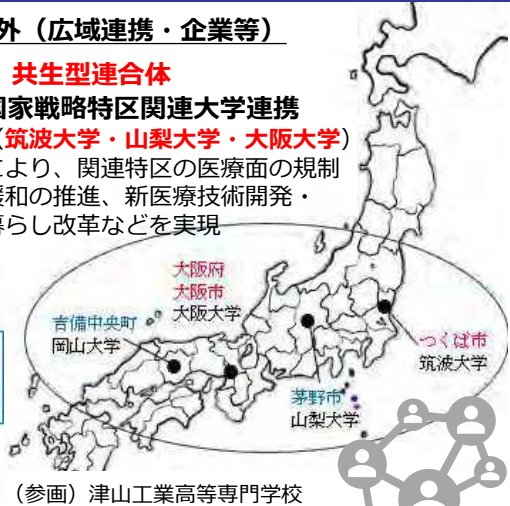
学内（多様な人材）

- ✓ **学都おかやま共創本部**
 - ・地域ニーズの窓口となり、学内外のコーディネート役割を担う
 - ・地域とともに社会変革を目指す
- ✓ **おかやまDXコア**
 - ・DXをキーワードに学内外の多様な人材が融合する仕組みと場
 - ・DXSUN創設（R5.11）
県内企業DX推進



学外（広域連携・企業等）

- ✓ **共生型連合体**
- ✓ **国家戦略特区関連大学連携**
（筑波大学・山梨大学・大阪大学）
により、関連特区の医療面の規制緩和の推進、新医療技術開発・暮らし改革などを実現



（参画）津山工業高等専門学校

多様な人材の融合により、地域課題解決と革新的イノベーションを起こしWell-being社会を実現

研究力強化のハブ：研究基盤（設備とヒト）を充実し
イノベーション創出のメッカ（集積拠点）を形成

- ✓ **研究基盤整備の要となる組織を設置**
 - ・岡山大学研究推進機構に機器共用推進本部を設置
 - ・技術職員を集約した「総合技術部」発足
- ✓ **先進取組機関との連携強化**
 - ・東京大学（クライオ電顕）
 - ・理研（SPring-8）



新しい知見・イノベーション創出を支える強固な基盤を構築
理化学研究所 SPring-8・SACLA
地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）

人財戦略・既成概念打破できる学内組織体制を構築
他機関との人事交流等によるナレッジワーカー人財育成

TCカレッジを軸に
技術職員の高度化・次世代育成を推進

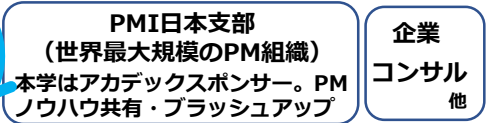


国内外研究機関

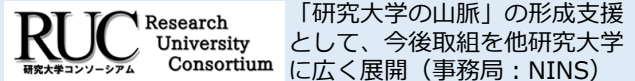


岡山大学強化本部に人事戦略部会を設置
人事戦略評価委員会等と連携し、PMノウハウ、人財育成・確保・活用等の制度を設計・展開

アカデミア以外の機関連携



URA等の研究マネジメント人材等活用・交流の促進



幅広い視野と高度な知識により社会を変革するナレッジワーカーの育成

地域と地球の未来を共創し、世界の革新の中核となる研究大学～持続可能な社会を実現させる10年構想～



●取組1
卓越性の飛躍

- 高等先鋭研究院・先鋭研究群設置、研究特区制度開始
- 東京大学・理研との連携強化、共同研究促進
- 天然光合成・人工光合成分野体制強化
- 次世代若手研究者テニユア
- 国内外・産業界等トップ研究者の招聘・確保

- 卓越研究者・先端設備
- 産学研究者の知の集積拠点（オープンラボ）
- 次期研究群（拠点）の設置計画
- クライオ電顕による光化学系IIタンパク質の構造分解能向上、研究の加速

- 次世代若手研究者の育成
- 海外TOP研究者招聘による地域の国際頭脳循環
- 光化学系IIタンパク質の構造解明、光合成サイクルを超える高効率の人工光合成触媒を開発
- 人工光合成、有機太陽電池、蓄電池、超伝導体の性能向上新素材を開発

- ストラスブール大学国際共同研究立ち上げ
- 新先鋭群（拠点）の設置
- 新たに開発した人工光合成触媒等をデバイスへ組み込み実証を開始
- 多様な環境頑健性を有する作物を創出
- 極限環境・地球外活動促進の産学官PFの検討

- 卓越拠点の海外展開に向けた検討
- 技術連携NW（産学官）を構築し、技術人材の交流を加速
- 光合成水分解・酸素発生反応の機構解明、自然界モデル触媒・人工光合成の触媒開発

地球と生態系の健康 (Planetary Health) の実現

天然光合成 人工光合成

砂漠化 農地化

●取組2
イノベーション創出

- 学内のデジ田体制整備
- 共生型連合体（国家戦略特区関連大学群）の設置
- 特区間の産学官連携体制構築
- 自治体の枠を超えたデータ連携着手
- 遠隔採血の課題・規制整理
- 救急処置行為の実証実験
- オープンイノベーションプログラム（農業・物流DX）

- データ連携に向け行政データのあり方検討
- 遠隔採血システム構築
- 妊産婦搬送、高齢者施設搬送等、現場・地域別ニーズ・課題把握
- 規制緩和に向け実証
- 連携大学・自治体等によるモデル事業拡大
- AIソリューション、農業・林業のDX化等の開発着手

- 共生連合体でデータシェアリングに係る外部提供マネジメント・セキュリティ確保等仕組み構築
- 吉備中央町での遠隔採血の実証実験開始
- 救急救命士の処置拡大（エコー検査）・普及
- 高品質ゲノムデータ蓄積活用システム化

- 遠隔採血実証実験の特区間連携、関係省庁協議
- 救急DX・エコー検査国内普及30%、海外実証1件以上を目指す
- 救急救命士の新たな業務拡大に向け協議
- 大学連携により、ゲノム創薬・人工知能を活用した機器開発

- 自治体での医療データ、病院での診療データを統合する「データ基盤連携」の暗号化データPF構築
- 遠隔採血実証自治体の増加、救急救命士の次なる業務拡大策定のための機器開発を産学で促進
- ヘルスケアデータ、ゲノム解析、PHRのセキュア基盤構築・普及

デジタルの力と特区制度を活用し未来型医療制度と生活様式を体現 (Community Health & Human Health)

●取組3
研究環境整備・技術人材変革

- クライオ電顕NW構築
- コアファシリティ関連機関との連携体制強化
- 博士人材登用
- SPring-8等リードステーション設置
- 複線型人事制度構築

- 先端設備メッカ（産学の集積拠点）確立
- 産業技術人材受入制度・技術職員民間出向等による頭脳循環を促進
- TCカレッジ強化

- 全学共用の基盤設備の管理運営を技術職員へ完全移行
- 共用基盤設備の学外利用促進による収益確保強化（メンテナンス、更新コスト捻出）

- 技術PMによる新技術や新装置の開発を実現

- イノベーション創出の知と技のメッカを確立（ソフト面）
- 設備・技術と言え「総合技術部」を実現

卓越とイノベーションを支える研究基盤（設備とヒト）の高度化

●取組4
マネジメント人材育成・強化

- URA（研究ブレーン組織）の体制強化
- 複線型人事制度構築
- 教員の機能分化制度構築
- スーパーPI制度構築
- 研究マネジメント人材認定制度確立

- 研究マネジメント認定人材とURAとの協働
- 事務職員の大学院修士支援制度実施

- URAの多面評価制度・スーパーPI業績評価
- ※各事業の効果測定・検証
- 複線型人事制度を活用したモデルケース創出
- 教員の機能分化制度によるリソース最適化を促進

- 複線型人事制度、教員の機能分化制度、研究マネジメント人材認定制度、URAの拡充に関する評価（学内・外部）

- 研究マネジメント人材認定制度を他分野へ波及
- 複線型人事制度、教員の機能分化制度を活用したリソース最適化により、卓越性・イノベーション創出を一層強力に推進

これからの日本を支える地域中核・特色ある研究大学を実現

岡山大学長期ビジョン2050 「地域と地球の未来を共創し、世界の革新に寄与する研究大学」

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）